

沖縄県新型コロナウイルス感染症発生動向報告

沖縄県疫学・統計解析委員会

【現状】

新規陽性者数・実効再生産数

沖縄県における先週（3月28日-4月3日）の新規陽性者数は、7,020人（先々週 5,097人）でした。沖縄本島（周辺離島を含む）における先週の実効再生産数(R) *¹ は 1.16 [最小値 0.59-最大値 1.54]、このうち那覇市は 1.19 [0.53-1.83]でした。また、宮古は 1.30 [0.29-1.99]、八重山は 0.93 [0.87-1.52]でした（図1）。全県的に流行は下げ止まったまま推移しています。

*1：最終日を除いた直近7日間における日別推定値（平均値）の平均値。[]内は、直近7日間における日別推定値（平均値）の範囲（最小値から最大値）を表す。

年齢階級別推移

年齢階級別では、10代が1,316人（19%）と最多であり、20代 1,227人（18%）、10歳未満 1,037人（15%）と続きます（図2）。すべての年代で増加していますが、とくに70歳以上の高齢者での増加が顕著です（図3）。

高齢層

保健所による疫学調査によると、70歳以上高齢者 327人における推定感染経路は、介護施設 86人（26%）と家庭 85人（26%）が並んで多く、友人・知人 12人（4%）と続きます。

ワクチン接種歴は、未接種 46人（14%）、2回接種 33人（10%）、3回接種 90人（28%）でした。なお、沖縄県の70歳以上高齢者 235,766人のワクチン接種状況は、3月29日時点で未接種 10,409人（4%）、1回接種 1,052人（0%）、2回

接種 42,194人（18%）、3回接種 182,111人（77%）でした（図4）。

社会福祉施設

先週、県内の社会福祉施設 33施設において新たに陽性者の発生を確認しました。

内訳は、特別養護老人ホーム 10施設、有料老人ホーム 11施設、老人保健施設 6施設、サービス付き高齢者住宅 2施設、小規模多機能施設 2施設、障がい者グループホーム 1施設、認知症グループホーム 1施設でした。これらの施設において、4月3日までに職員 61人、利用者 48人の陽性を確認しています。

33施設のうち24施設（73%）が、4月3日時点で職員のみ陽性確認であり、19施設（58%）が職員1名のみ陽性確認でした。一方、利用者の陽性を確認した9施設のうち、4月3日時点で5人以上の集団感染に至っているのは4施設です。内訳は、有料老人ホーム 2施設、特別養護老人ホーム 1施設、老人保健施設 1施設となっています。

保健所管区別

保健所管轄区域別（7日間合計）では、北部 388人（先々週 283人）、中部 2,518人（先々週 1,727人）、那覇市 1,644人（先々週 1,281人）、南部 2,026人（先々週 1,435人）、宮古 218人（先々週 151人）、八重山 169人（先々週 164人）でした（図5）。

なお、県外からの渡航者は46人（先々週 57人）であり、このうち大阪府 9人、東京都 8人、福岡県 6人であり、渡航元は17都道府県と散らばっています。

入院患者数推移

先週の新規入院患者数は122人でした。入院患者数は、先週末（4月3日時点）で186人と1週間前より35人増加しています。酸素投与など中等症患者は87人と1週間前より2人増加であり、気管挿管など重症患者は2人と1週間前と変わりません（図6）。

この他、社会福祉施設で療養されている陽性者

が、先週末（4月3日時点）で18施設に75人おられ、1週間前より52人と急速に増加しています。

なお、先週末（4月3日時点）における病床占有率は、沖縄本島29.1%、宮古地区6.1%、八重山地区22.7%となっています。高齢者の新規陽性者の増加により、沖縄本島における病床占有率が急速に上昇しています。

【今後の見通しと対策】

沖縄県では、春休みに入って以降、全県的に感染拡大が進んでいます。先週からは高齢者も増加に転じていることから、入院患者数も増えていきます。

今週の新規陽性者数は9,500-12,500人となり、今週末までに入院患者数は240-280人に至り、うち重症患者数は4人前後と見込まれます（図7）。

3月28日に県内収集48検体の全ゲノム解析を実施したところ、うち20例が感染力の強いとされる「BA2」系統のウイルスでした。これにより、沖縄県内では半数近くが「BA2」に置き換わっていると考えられます。このため、今後、さらに急速に増加することも考えられます。

高齢者の感染のうち介護関連が全体の4分の1を占めています。とくに高齢者施設における感染対策の確認が求められます。

高齢者施設における感染対策 7つのポイント

- 1) 感染対策の基本は手指衛生とマスクの着用です。ケアや清掃の前後など適切なタイミングで手指衛生を心掛けてください。オミクロン株であっても、症状が出現する前からウイルスを排出しています。すべての職員は症状を認めていなくとも、必ずマスクを着用して業務にあたってください。
- 2) 人が集まる共有エリアは、いつも風通しを良くしておきましょう。「定期的に換気」ではなく、「常に少しだけ換気」を心掛けてください。た

えば、食べ物の匂いがずっと残るようであれば、室内の換気が悪いと考えます。なお、カラオケなどで歌うことは、エアロゾルを多量に発生させるリスクがあります。流行が収まるまでは中止することを強く勧めます。

- 3) 現在、沖縄県では急速に流行が拡大しています。原則として、施設内での面会を中止してください。ただし、入居者の外出については、散歩程度であれば制限する必要はありません。家族など親しい人と屋外で面会することも構いませんが、面会者に発熱や咳嗽などの症状がないことを確認したうえで互いにマスクを着用するようにします。
- 4) 職員に発熱や咳などの症状があれば必ず休ませてください。そして、医療機関を受診させるか、県が配布している抗原検査キットで確認してください。なお、結果が陰性だった場合にも、感染が否定されるものではありません。発症から5日が経過し、症状消失後48時間が経過するまで仕事を休ませるようにしてください。
- 5) 利用者に発熱や咳などの症状を認めるときは、かかりつけ医に相談するなどして、必要な治療を開始するとともに検査を早めに受けさせてください。なお、新型コロナウイルス感染症では、必ずしも発熱しないことがあります。咳や倦怠感、息切れなど体調不良があれば、やはり疑って早期に診断することが必要です。
- 6) 高齢者と職員へのワクチン接種を進めてくだ

さい。感染予防効果は完全ではありませんが、施設全体の感染防御を高め、接種した高齢者の重症化予防が期待できます。また、面会に来られるご家族、デイサービス利用者についても、3回目のワクチン接種を進めてください。

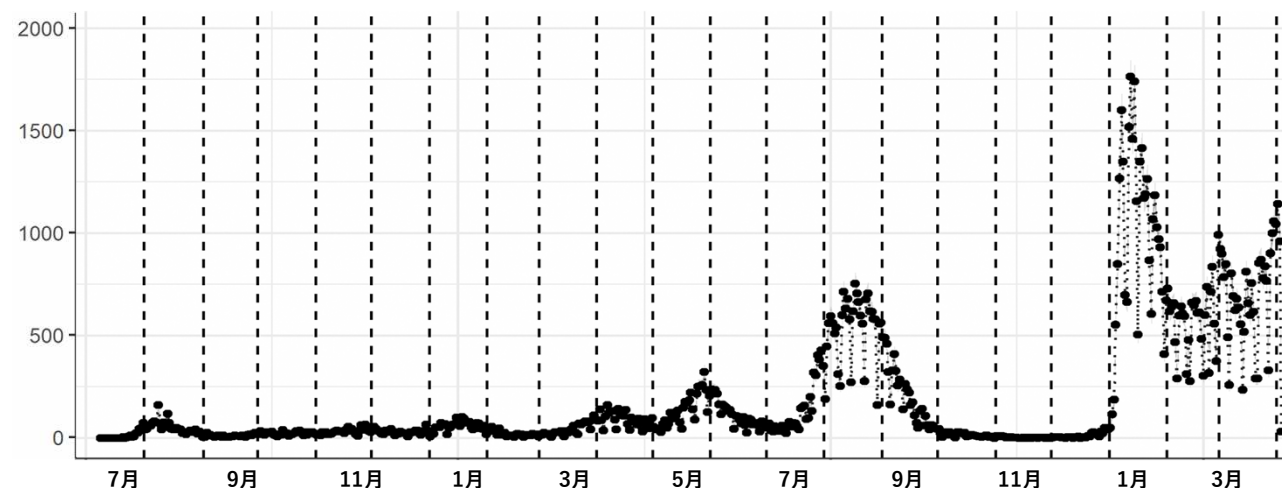
7) 沖縄県では、社会福祉施設の職員に対する2週間に1回の無料PCR検査を実施しています。ワクチン接種者では感染予防効果も期待されますが、ときに症状が軽微であって、周囲への感染性がありながら感染に気付いていないことがあります。施設内感染の早期発見のためにも、参加されることをお勧めします。

図1 陽性者数の推移と実効再生産数（北部、中部、南部）

陽性者数（確定日）

日あたり観察値

北部、中部、南部医療圏
(宮古・八重山を除く)



実効再生産数

直近7日間平均値

北部、中部、南部医療圏
(宮古・八重山を除く)

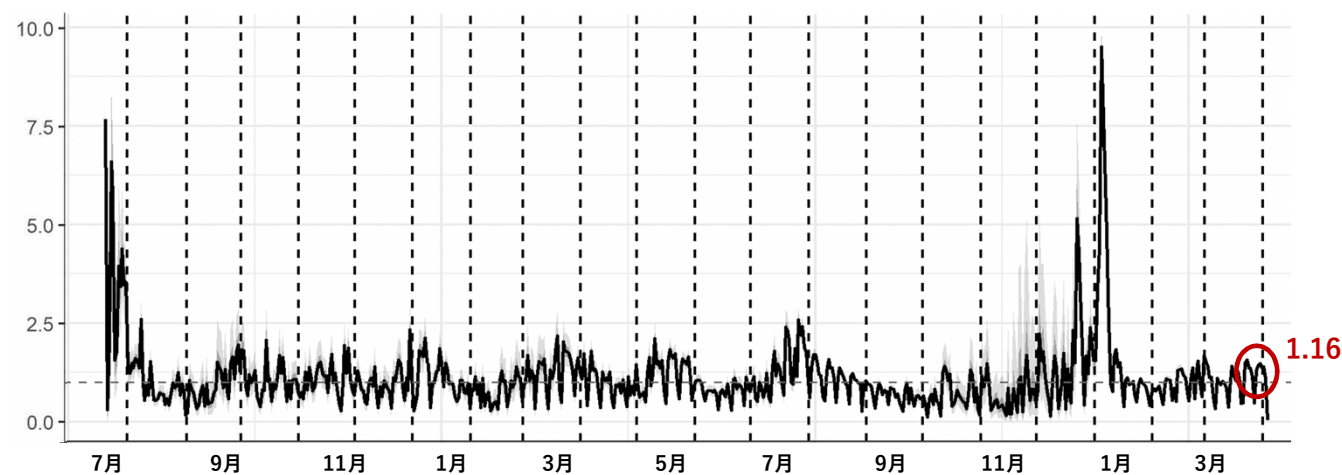


図2 性年齢階級別に見る陽性者数（3月28日～4月3日）

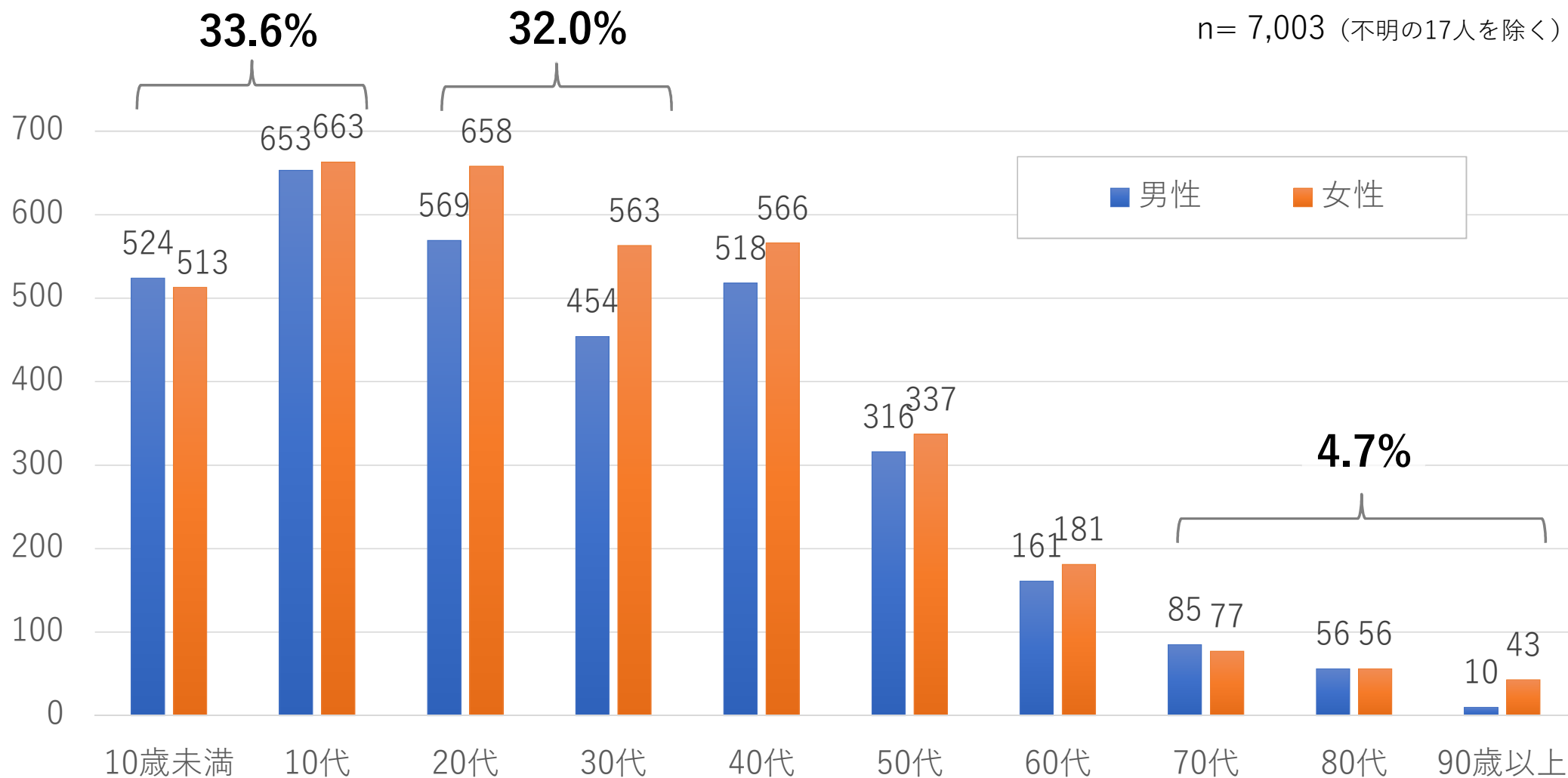


図3 年齢階級別にみる陽性者数の増減率

増減率 = 2022年3月28日～4月3日 / 2022年3月21日～27日

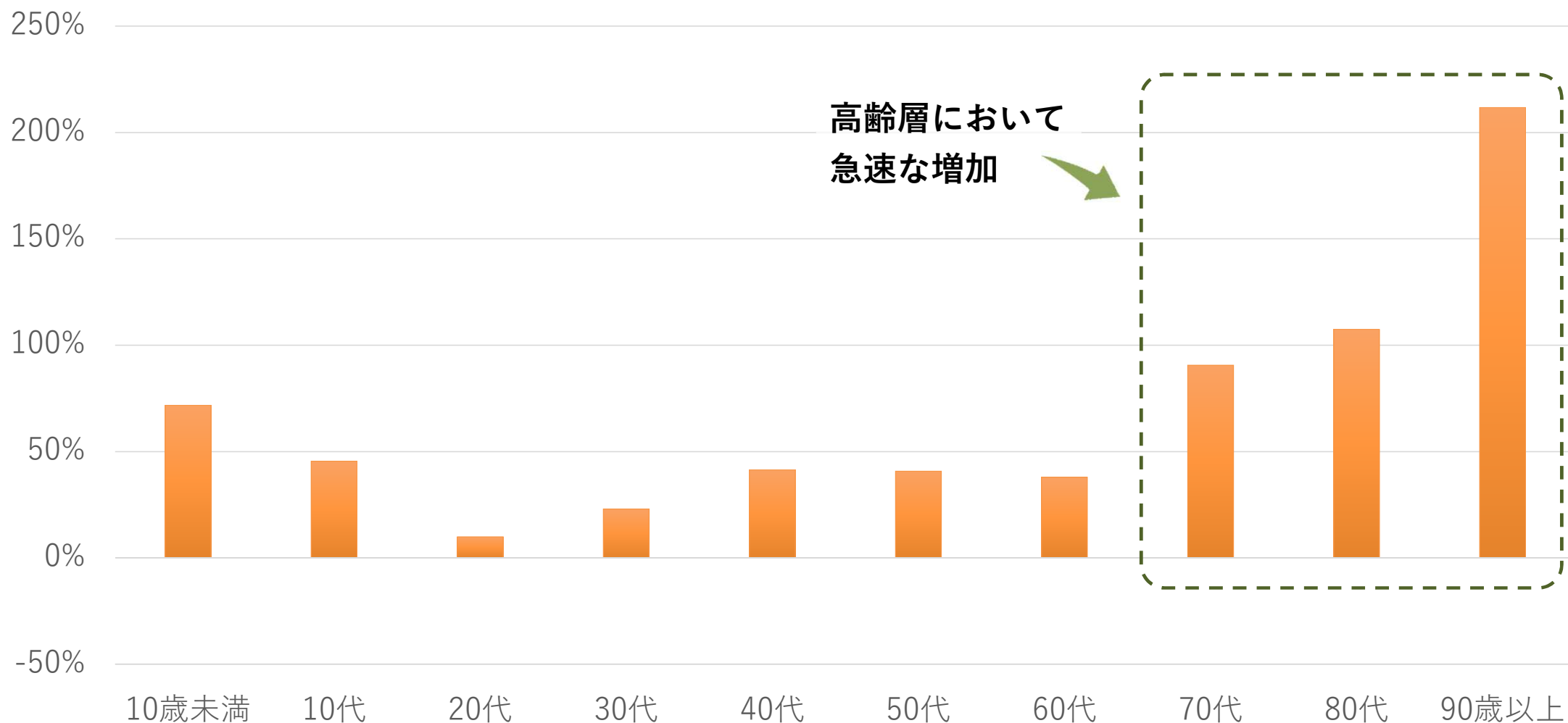
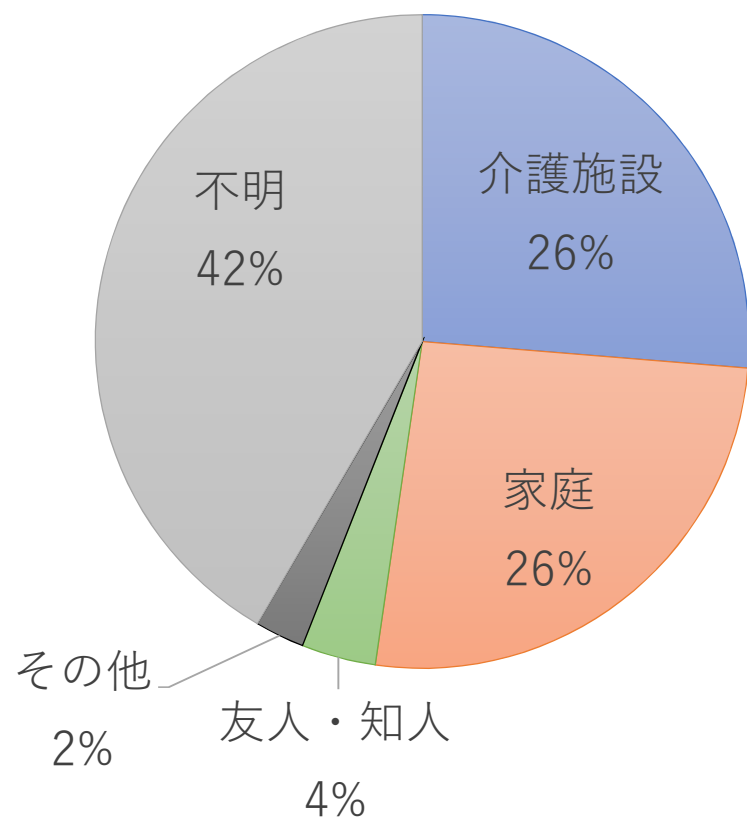


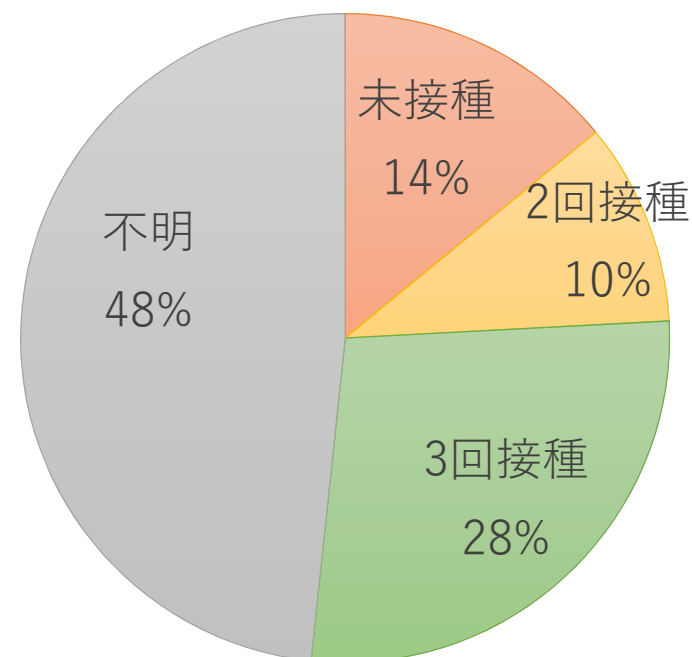
図4 70歳以上高齢者の推定感染経路およびワクチン接種歴

2022年3月28日～4月3日

推定感染経路



ワクチン接種歴



n = 327

図5 保健所管区別に見る新規陽性者数の推移（沖縄県）

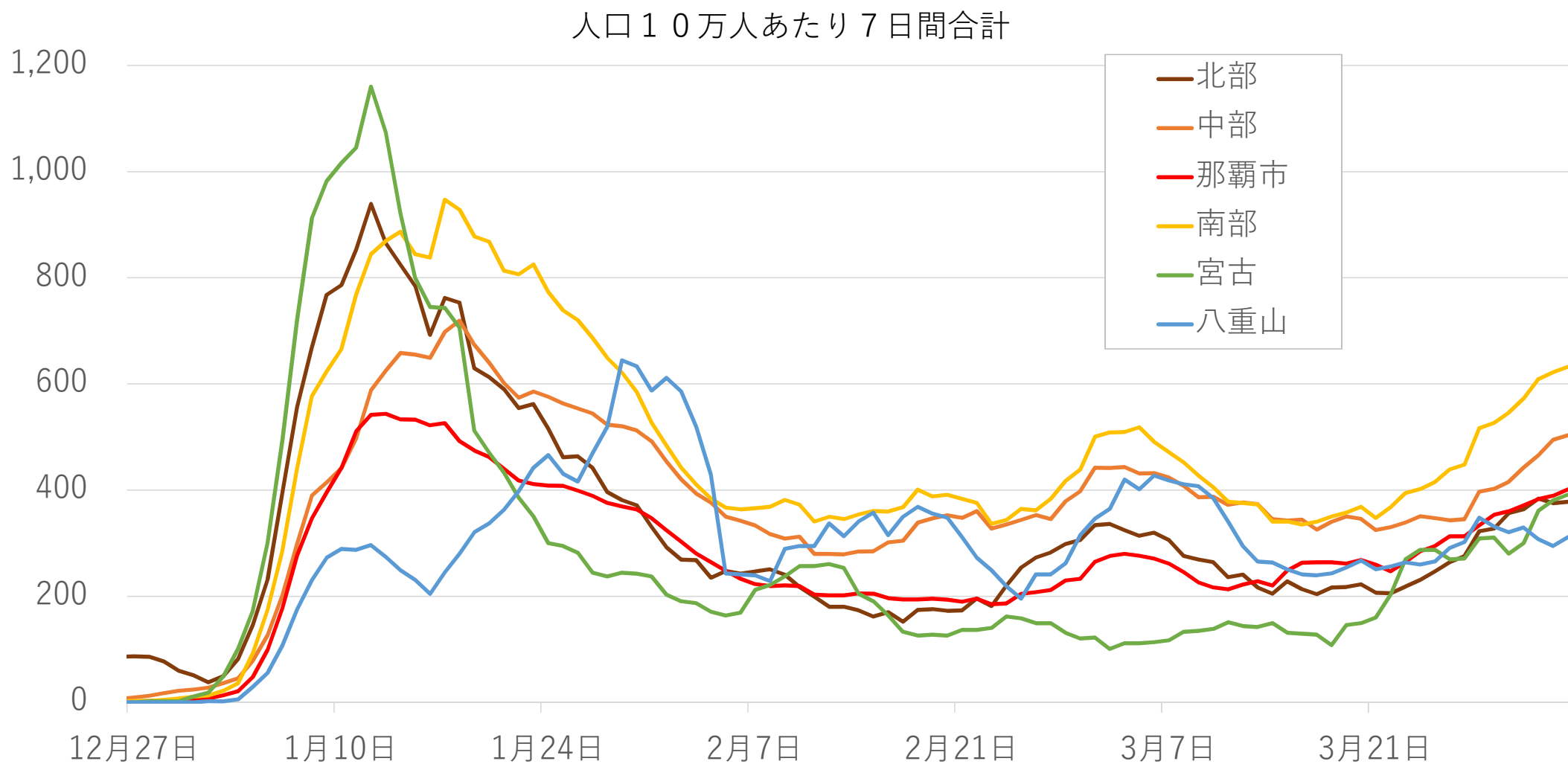


図6 重症度別入院患者数と施設療養者数の推移

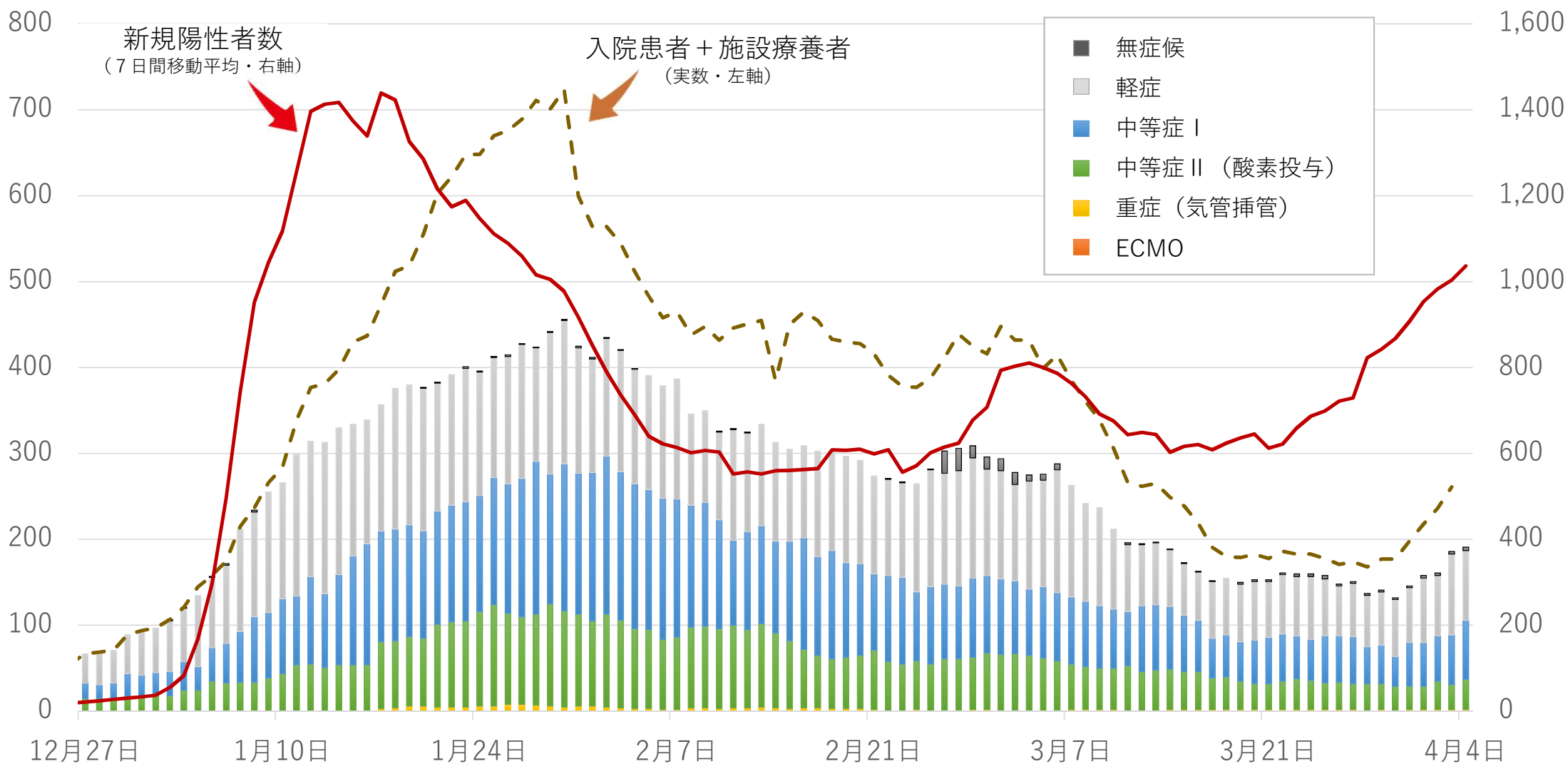


図7 今後1週間（4月4日-10日）の発生見込み数

分析データ： 新規陽性者数、年齢群別・医療県別入院率； 沖縄県
 年齢群別重症化率； 厚生労働省
 平均期間（入院・重症）； HER-SYS

	新規陽 者 数 （確定日）			入院者 数 ※			重症者 数 ※		
実効再生産数	1.0	1.5	2.0	1.0	1.5	2.0	1.0	1.5	2.0
北部	384	773	1,557	19	23	31	0.1	0.2	0.3
中部	2,462	4,958	9,984	71	99	147	0.7	1.1	1.7
那覇市	1,588	3,198	6,440	59	79	113	1.7	2.0	2.4
南部	1,987	4,001	8,058	52	72	106	0.5	0.8	1.2
宮古	212	427	860	7	9	13	0.1	0.1	0.1
八重山	158	318	641	8	10	12	0.0	0.0	0.1
合計	6,791	13,675	27,539	216	292	421	3.2	4.1	5.7

※ 4月10日時点の見込み数

沖縄県疫学・統計解析委員会